



# みなみの空

## ♪♪ 野原しんのすけから学ぶ? ♪♪

クレヨンしんちゃんに出てくる「ダメダメの歌」をご存じでしょうか? 思い切りふざけた曲で、しんのすけの得意技「ぞうさん、ぞうさん」等の下品な言葉が出てくるためか、最近では余り放送されないようです。たしかに、歌詞はいい加減で、「よくない内容だ。」という方の考えはよく分かります。校長として、この曲を子ども達に聴かせようとは思っていませんので安心してください。

しかし、歌詞の中に私の心に刺さっている一節があります。  
「それって大人の都合なんじゃないの?」

『大人は、何でもダメと言うけど、大人の都合や勝手に言っているのがあるのでは。』と、しんのすけは主張しているような気がします。

子育ての中で、「ダメ」と言わなければならないことは多いと思います。世の中の決まりや、人とのつながりを大切にするために教えることが多いからです。その「ダメ」には、ちゃんとした理由と、愛情がこもっています。この「ダメ」は大切です。

一方で、しんのすけが「?」を付けているのは…。

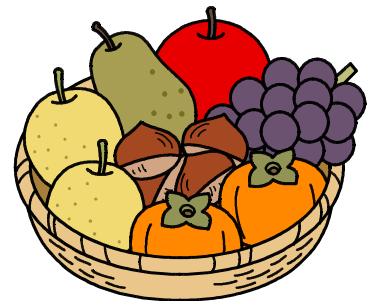
- 自分はルールを守ってないのに、子どもには「ダメ」と言う。
- 自分の機嫌がいいときはOKで、気分が悪いときは「ダメ」と言う。
- 家では自分もしているくせに、人前だと「ダメ」と言う。
- 面倒くさいときは勝手にさせておいて、突然「ダメ」と言い出す。



こういうのをダブルスタンダードと言います。大人の都合や、その時の気分、他人の目によって言うことが変わることです。ご家族の皆さんも私たち学校の者も、子どもを正しい人に育てようとしています。もちろん「OK」と「ダメ」は、きちんと分かる人になるように育てています。

子ども達の間から見て、「それって大人の都合なんじゃないの?」と感じるような教え方をしたら、きつとうわべだけ正しい人に育つでしょう。我が子や教え子が正しく育つには、正しく生きる姿を黙って見せることが大切だと思います。

しんのすけのようにふざけてばかりの子も困りますが、もしかするとしんちゃんは深いところを見つめているのかもしれないですね。ちなみに、校長は「嵐を呼ぶモーレッツ! オトナ帝国の逆襲」と「嵐を呼ぶアッパレ! 戦国大合戦」が大好きです。登場人物では、ぶりぶりざえもんですね。



## 新通知票について



通知票の新しい様式について、ご感想などを多数お寄せいただきました。新通知票に込められた、学校スタッフの思いや考えをご理解いただいた感想が多く寄せられました。新しい様式ができるまでには、話し合いを重ねました。また、町のITサポートの皆さんの助けを借りて完成したので、とても嬉しい感想をいただき職員一同喜んでいきます。

中でも一番大切にしたいと考えたのは、「子ども達と関わる時間を増やす。」という考えに「いいことだ。」「嬉しい。」「お願いします。」という感想をいただいたことです。子ども達と関わる時間を増やすことは、私たちの願いであり宿題です。

裏面に結果の集計を載せておきましたので、ご覧ください。今後も、保護者の皆様と担任をよりよくつなぐための通知票として改善していきます。

